

1 経済日誌

2021年8月～2021年11月

全 国		和歌山・大阪	
8月10日	経常黒字 5 割増 10.4 兆円 財務省が発表した2021年1～6月の国際収支統計によると、経常収支は10兆4675億円の黒字だった。前年同期に比べ50%増加し、6年ぶりの高い伸びとなった。	8月4日	大阪市人口 大幅増加 総務省が発表した人口動態調査で、大阪府の総人口は883万9532人と前年比1万103人減少したが、大阪市は9543人増加し、全国2位の増加数となった。
8月16日	GDP 年率 1.3% 増 内閣府が発表した2021年4～6月期の国内総生産（GDP）速報値は、実質の季節調整値で前期比0.3%増、年率換算で1.3%増だった。プラス成長は2四半期ぶり。	8月25日	和歌山 IR、優先権者と基本協定 和歌山県は、和歌山マリーナシティへの誘致を進めている統合型リゾート（IR）の運営事業者として選定したカナダのクリアベスト・グループと基本協定を締結した。
9月13日	大企業景況感 3 四半期ぶり改善 内閣府と財務省が発表した2021年7～9月期の法人企業景況予測調査によると、大企業全産業のBSIはプラス3.3となり、3四半期ぶりにプラスに転じた。	8月27日	大阪万博 交通網強化 政府は、国際博覧会推進本部で、2025年大阪・関西万博に関連する高速道路や鉄道網などのインフラを整備する関連事業計画を決めた。
9月21日	基準地価 2 年連続下落 国土交通省が発表した2021年の基準地価は、住宅地や商業地など全用途の全国平均が前年比0.4%下がり、2年連続の下落となった。	9月1日	「大阪公立大学」新設認可 大阪府立大学と大阪市立大学を統合する「大阪公立大学」は、文部科学省から新設を認可されたと公表した。2022年4月の開学予定で、公立大学では国内最大となる。
10月1日	景況感、5 期連続改善 日銀が発表した2021年9月の全国企業短期経済観測調査（短観）で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数（DI）はプラス18となり、5四半期連続で改善した。	9月21日	和歌山県の基準地価 下落続く 和歌山県は、7月1日時点の基準地価を発表した。県全体の平均変動率は、前年比1.3%の下落となった。住宅地は31年連続、商業地は30年連続で下落した。
10月22日	消費者物価 0.1% 上昇 総務省が発表した2021年9月の消費者物価指数（CPI、2020年=100）は、生鮮食品を除く総合指数が99.8と前年同月に比べ0.1%上がった。上昇は1年半ぶり。	9月21日	大阪府の商業地 9 年ぶりに下落 大阪府は、7月1日時点の基準地価を発表した。平均変動率は、住宅地が前年比マイナス0.2%で2年連続の下落、商業地はマイナス0.9%で9年ぶりの下落となった。
11月11日	企業物価 40 年ぶり伸び 日銀が発表した2021年10月の企業物価指数は、前年同月比で8%上昇した。伸び率は石油ショックの余波が残る1981年1月以来、約40年ぶりの大きさとなった。	9月28日	大阪 IR 事業者決定 大阪府と大阪市は、誘致を目指す統合型リゾート（IR）の開発・運営事業者に、MGM リゾーツ・インターナショナルとオリックス連合を正式に選定したと発表した。
11月15日	GDP 年率 3.0% 減 内閣府が発表した2021年7～9月期の国内総生産（GDP）速報値は、実質の季節調整値で前期比0.8%減、年率換算で3.0%の減となった。	10月30日	和歌山県で初の国文祭が開催 国内最大級の文化の祭典「紀の国わかやま文化祭2021」が開幕した。県内各地で美術、音楽、演劇、伝統芸能などの約160のイベントが開催される。
11月29日	外国人 新規入国を停止 政府は、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に対応するため、2021年11月30日から12月31日までの1カ月間、外国人の新規入国を原則停止すると発表した。	11月24日	和歌山県がベトナムと覚書更新 県とベトナム商工省は、貿易促進に関する覚書を更新した。10月に日本産温州ミカンの同国への輸出が解禁されたことを受け、同県が第1号となる出荷を決めた。

2 地域開発のうごき

2021年8月～2021年11月

和歌山県内

8月31日 有田市に工場増設

和歌山県は、ライオンケミカル（有田市）が本社隣接地に新工場を建設するにあたり、立地協定を締結すると発表した。延床面積約 6700㎡、投資額は約 10 億円、2023 年 3 月操業開始の予定。

9月5日 御坊市新庁舎新築工事が始動

御坊市の新庁舎の起工式が建設予定地の市役所前駐車場で行われた。新庁舎は地上 6 階建て、延床面積約 7700㎡の防災拠点機能を備えた庁舎で、2024 年 1 月の業務開始を予定。

10月3日 「丹鶴ホール」開館

新宮市の文化複合施設「丹鶴ホール」が完成し、記念式典が行われた。施設は 4 階建てで、1～3 階は文化ホール、2 階は熊野の文化・歴史を紹介する熊野エリア、4 階は図書館を配置している。

10月13日 国際鯨類施設新築工事を再公告

太地町は、鯨類の研究や情報発信の拠点となる「(仮称) 国際鯨類施設新築工事」の入札を再公告した。同工事は、6 月に公告したが入札が不成立となっていた。

10月15日 中学校跡地に専門学校を新設

有田市は、同市初島町の初島中学校跡地に「(仮称) 和歌山医療スポーツ専門学校」を設置することに関し、学校法人国際学園と専門学校設置に関する協定を締結すると発表した。

10月20日 和歌山市と白浜町にサテライトオフィスを同時開設

和歌山県は、株式会社 Relic(レリック)が和歌山市と白浜町にシステム開発拠点及びインサイドセールス拠点を開設するにあたり、進出協定を締結すると発表した。

10月29日 和歌山城ホールが開館

和歌山市役所に隣接する新市民会館「和歌山城ホール」が完成し、開館した。施設は、地上 5 階建てで、大ホール、小ホール、展示室、リハーサル室、練習室、会議室などを備える。

11月24日 有田 - 印南 4 車線化

西日本高速道路は、阪和自動車道と湯浅御坊道路の有田 IC- 印南 IC 間（約 30km）の 4 車線化工事が 12 月 18 日に完成し、供用を開始すると発表した。

11月24日 「串本太地道路」工事開始

国土交通省近畿整備局は、紀伊半島沿岸をつなぐ高規格道路の一部として 2018 年に事業化した国道 42 号のバイパス道路「串本太地道路」について 12 月 25 日に起工式を行うと発表した。

3 地域開発のうごき

2021年8月～2021年11月

大阪府内

8月4日 「大阪・大手前一丁目プロジェクト」着工

日本経済新聞社と大和ハウス工業は、日経旧大阪本社跡地で複合施設の建設工事に着手したと発表した。地上21階建てで、テレビ局や高級ホテルなどが入居、2024年春の開業を予定。

8月18日 「(仮称)東大阪宝町物流センター」を着工

大和物流は、東大阪市において、同社最大の物流施設「(仮称)東大阪宝町物流センター」を着工した。延床面積約2.8万㎡、同社最大の物流施設で2022年9月の稼働を予定。

8月28日 大阪・本町に水辺の交流拠点が誕生

大阪のオフィス街・本町に、水辺と公園の立地を活用した新施設「β本町橋（ベータほんまちばし）」がオープンした。同施設は、軽食の販売やオフィス・レンタルスペースとしての機能を持つ。

8月30日 「枚方市総合文化芸術センター」がオープン

枚方市の京阪枚方市駅前に「枚方市総合文化芸術センター」がオープンした。センターは地上5階・地下1階建て、大ホール、小ホール、イベントホール、美術ギャラリーを配置している。

9月22日 阪神本店2期棟 開業へ

阪急阪神百貨店は、建て替え工事中の阪神梅田本店（大阪市）の2期棟の大半を10月8日に開業すると発表した。来春には全面開業し、既に開業の1期棟とあわせて工事が完成となる。

10月13日 大阪城南側に高級ホテルを開発

NTT西日本などは、大阪市中央区馬場町の本社ビル跡地に、高級ホテルや広場などで構成される観光拠点を2025年の大阪・関西万博の開幕までに開設する計画を発表した。

10月15日 門真市で大型商業施設を建設

三井不動産は、門真市において商業施設・住宅・会員制倉庫型店舗・事業所の4つの街区から構成される大規模複合街づくり型開発を始動したと発表した。

10月26日 新キャンパス整備に420億円

2022年4月に開学する大阪公立大学は、2025年4月の整備を目指す森之宮キャンパスのイメージを公開した。新キャンパスは基幹教育を担うほか、産官学の連携拠点として活用。

11月24日 「うめきた2期」に3ホテル

うめきた2期開発事業者JV9社は、米ヒルトンと阪急阪神ホテルズが3つのホテルを2024年度以降に、順次開業すると発表した。ヒルトンの「ワールドーフ・アストリア」の進出は日本初。

4 関西国際空港

2021年8月～2021年11月

関西国際空港

8月3日 関空発着のアメリカ・ヨーロッパ便を追加

フェデックス・エクスプレスは、北京－関空－アンカレッジ－メンフィス線を週6回、広州－関空－シャルル・ド・ゴール線を週3回、新たに運航すると発表した。

8月20日 ピーチ・アビエーション 9～10月に1300便減便

ピーチ・アビエーションは、9～10月に国内線25路線の1324便を減便すると発表した。減便する25路線のうち、関空発着便は9路線。

8月26日 セブパシフィック航空 関空－マニラ線を再開

セブパシフィック航空は、関空－マニラ線を9月4日から週2便で再開すると発表した。同社は既に成田－マニラ線、中部－マニラ線を運航中で、本再開で日本路線は3路線に拡大する。

9月7日 アシアナ航空 増便

アシアナ航空は、関空－仁川線を週2便から週3便に増便した。また、10月から週2便の運航を更に追加し、週5便体制とする。

9月21日 PCR検査センターがオープン

近畿大学医学部関西国際空港クリニックおよび川崎重工業は、関空内にPCR検査センターをオープンした。自動PCR検査ロボットシステムを活用し、最短3時間で陰性証明書の発行が可能。

10月1日 フィンエアー 関空－ヘルシンキ線を再開

フィンエアーは、関空－ヘルシンキ線の運航を週3便で再開した。10月から日本路線の旅客便を増便する第1弾として関空線を再開した。

10月11日 フェデックス・エクスプレス、パリから直行便

フェデックス・エクスプレスは、シャルル・ド・ゴール－関空線の貨物便を追加したと発表した。夜間の直行便で、週4便の運航を行う。

10月25日 国際線貨物便、発着最多

関西エアポートは、関空の2021年4月～9月の国際線貨物便の発着回数が前年同月比13%増の1万3966回と同期間で過去最多だったと発表した。

11月5日 日本初 空港カーボン認証レベル4を取得

関西エアポートは、関西・大阪国際・神戸空港の3空港が空港から排出されるCO2の管理・削減状況を評価する空港カーボン認証プログラムのレベル4を日本で初めて取得したと発表した。

11月15日 カンボジア JC 国際航空が外国人国際航空運送事業の経営許可を取得

国土交通省は、カンボジア JC 国際航空からの外国人国際航空運送事業の経営許可申請を許可したと発表した。同社は、2022年2月から台北経由のプノンペン－関空線を週2便で運航する。